



お買い上げありがとうございます。
この楽譜は @ELISE で販売されました。

楽譜ダウンロード配信サイト @ELISE
<http://www.at-elise.com/>

お問い合わせフォーム
<https://www.at-elise.com/Music/mailform.html>

株式会社ジャパン・ミュージックワークス
電話：03-5825-9377

この楽譜データの、購入者本人のバックアップ以外を目的とした複写・複製および、本人以外の使用を目的とした印刷、転載・頒布・送信はおこなわないでください。著作権の侵害にあたり、著作権法により罰せられます。また、以上のような不正コピーがおこなわれますと、出版社は正常な出版活動が困難になり、ついには皆様が必要とされるものも出版できなくなります。どうか不正コピーの防止に皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【印刷のヒント】

<Windows10>

Windows10 標準の「リーダー」でこの楽譜を開いていませんか？このソフトですとうまく印刷ができない場合がございます。「Adobe Acrobat Reader」で開いてください。「Adobe Acrobat Reader」は、Adobe 社のホームページから無料でダウンロードとインストールができます。

<スマートフォン・タブレット端末>

お使いのプリンターが無線印刷に対応していましたら、そのプリンターのアプリでこの楽譜データを開き直すことにより、印刷が可能な場合があります。ご不明な場合は、パソコンにて @ELISE の「再ダウンロードコーナー」から改めてダウンロード、もしくはパソコンにこの楽譜データを転送して、印刷をおこなってください。

@ELISE は楽譜出版社から委託を受けて楽譜を販売し、
JASRAC と NexTone の許諾を受けて運営しています。
JASRAC 許諾番号：9009834001Y37019
NexTone 許諾番号：ID000001479





FIRST LOVE

music by 宇多田ヒカル

© 1999 by NICHION, INC. / JOHNNY COMPANY, INC. / Sony Music Publishing (Japan) Inc. / U3 Music INC.

このアレンジ好き。曲も素敵ですね。後半は、タッピング・ハーモニクスも使ってみました。このチューニングの利点は1弦をDに下げることにより、3度のハーモニーが弾き易くなる事です。そして5弦をGにする事で、オープン4コーティングになり、さらに6弦をくまで下げ、コード進行でGとCが時々、場合、開放弦でベース音が使え、便利です。

押尾コウ

Tuning = C G D G B D
↓ ↓ ↓

C C(onD) G C(onG) G

B Em D C D

Em Bm7 Cmaj7

C G D(onF#) Em

G(onD) C D

The sheet music is organized into five systems, each with two staves (treble and bass).
 System 1: Measures 1-4. Chords: C, C(onD), G, C(onG), G. Techniques: slurs, accents, vibrato, and fingerings are indicated.
 System 2: Measures 5-8. Chords: Em, D, C, D. Techniques: slurs, accents, vibrato, and fingerings are indicated.
 System 3: Measures 9-12. Chords: Em, Bm7, Cmaj7. Techniques: slurs, accents, vibrato, and fingerings are indicated. A 'thumb' instruction is present in measure 10.
 System 4: Measures 13-16. Chords: G, D(onF#), Em. Techniques: slurs, accents, vibrato, and fingerings are indicated.
 System 5: Measures 17-20. Chords: G(onD), C, D. Techniques: slurs, accents, vibrato, and fingerings are indicated.

D G D(onF#) Em
 G(onD) C C(onD)
 G C(onG) G Inter Dadd9 Dadd9(onC) G(onB) C G(onB)
 Am7(11) C(onD) A2 G D
 Em G(onD) Cmaj7 D(13)

Musical score for guitar, featuring a mix of standard notation and tablature. The score is divided into systems, each corresponding to a specific chord or section. Key elements include:

- Chords and Sections:** D, G, D(onF#), Em, G(onD), C, C(onD), G, C(onG), G, Inter, Dadd9, Dadd9(onC), G(onB), C, G(onB), Am7(11), C(onD), A2, G, D, Em, G(onD), Cmaj7, D(13).
- Notation:** Standard musical notation for the treble and bass staves, with guitar-specific symbols like *h.* (harmonic), *s.* (slide), *gliss.* (glissando), *p.* (pizzicato), and *thumb*.
- Tablature:** Numerical fret numbers (0-12) are provided for the bass staff in many sections, often with circled numbers indicating specific techniques or fingerings.
- Accents and Dynamics:** Various accents (e.g., *h.*, *s.*) and dynamic markings (e.g., *p.*) are used throughout the score.

D2 G D(onF#) Em

G(onD) C C(onD)

E Cmaj7 Gadd9(onB) Am7(11) T.Harm.12

Am7(11)(onD) T.Harm.12 **C3** G

D(onF#) Em G7(onD)

C D G

D(11)(onF#) Em Dm7 G7(9)

C C(onD) G

Ending G D(onF#) Em G(onD)

C C(onD) G C(onG) Gadd9

FIRST LOVE

Guitar ● Martin D-28 (1964)

Tuning ● C↓ G↓ D G B D↓

- ① 6弦を2音下げる 〈5弦3フレットを基準にオクターブ下〉
- ② 5弦を1音下げる 〈3弦開放を基準にオクターブ下〉
- ③ 1弦を1音下げる 〈4弦開放を基準にオクターブ上〉

宇多田ヒカルさんが1999年にリリースした、同名のファースト・アルバムからのシングル・カットで、アルバム、シングルともに大ヒットを記録しています。

概要&テクニック解説

音符の上に付いている短い横棒はテヌート記号といい、本来は“音を長さ通り(十分長く)弾く”という意味ですが、本書ではメロディを示すのに使用しています。同時に隣の弦をピッキングする場合をのぞき、アポヤンド奏法(弾いた後で隣の弦に指が寄りかかる奏法)でピッキングするなど、意識して伴奏より強めに弾きましょう。

演奏のポイント

A 2小節目は、6弦2フレット・D音を親指で押さえたまま(シェイク・ハンド・グリップ)、メロディを弾いていきます。親指は、4拍目で離します。

B 5小節目の3拍目オモテと3拍目ウラは、メロディが同じG音ですが、ポジションが移動しますので注意しましょう。

C 1小節目は、1～3弦7フレットを部分セーハした人差し指を軸にして弾いていきます。また、休符の部分は、右手の指(人差し指、中指など)を弦に乗せて、音を短く止めています。

2小節目は、押弦した2弦のメロディに、1弦開放・D音の伴奏を加えています。

4小節目は、人差し指と薬指の部分セーハで弾いていきます。人差し指の10フレット・セーハは1～3弦、薬指の12フ

レット・セーハは弾く弦に合わせて1～3弦か1～2弦を押さえます。

6小節目は、人差し指で1～3弦5フレットを部分セーハしたまま、7フレットまでグリス・アップします。4拍目は、2～3弦7フレットをピッキングした後、2弦と(3弦ではなく)4弦をハンマリングします。

D 1～5小節目は、ほぼ**C** 1～5小節目と同じです。

6小節目の4拍目ウラは、小指で1弦を押さえたまま5フレット・G音から7フレット・A音にスライドし、3弦は4フレット・B音を押さえた中指と入れ替わるようにして、5フレット・C音を人差し指で押さえます。楽譜上ではハンマリングとしてありますが、小指の動き(すなわち左手全体の動き)に合わせて、人差し指は4フレット方向からスライド気味に5フレットへ入ってくる感じです。

Inter 4小節目の2拍目は、1弦9フレット・B音を押さえた小指をグリス・ダウンし、ウラ拍で人差し指による1～3弦部分セーハにバトン・タッチします。

A2は、基本的には**A**と同じですが、4小節目以降は若干フレーズが変わります。また**A2**は、2拍目と4拍目にネイル・アタック(音符の上に×印)でアクセントが付けられています。ネイル・アタックは、音符を記してある部分はその音を狙い、前の音符が伸びている場合(1小節目の2拍目など)は左手のフォームを変えずに(直前に弾いていたコードのまま)行います。

2小節目の2拍目にあるネイル・アタックは、4弦を押さえていた薬指のみ離して行います。6弦を押さえた親指は、離さずにベース音を伸ばしておきます。

6小節目の2拍目は、ネイル・アタックの代わりにストリング・ヒット(音符の符頭が×印)が用いられており、弦に右手人差し指と中指を叩く感じで乗せて打音を出し、続いてその指で引っかけるようにして弦をピッキングしています。

7小節目の3拍目ウラにあるライト・ハンド・タッピング(R.H.T.)は、4拍目のタッピング・ハーモニクスにそなえて12フレットに移動中の右手で、ピッキングの代わりに5弦を軽く叩いて音を出します。続く4拍目と次の8小節目アタ

マは、右手で12フレットをタッピングしてハーモニクスを出します。この時6弦は、親指でネックを握りこんで消音しておきます。

.....

B2は、ほぼ**B**と同じです。2小節目のコード・ネームがDではなくD₆⁽¹¹⁾になっていますが、これは伴奏として2～3弦開放を弾いている違いだけで、フォームは同じです(そのため、ダイアグラム譜では省略してあります)。4小節目のD⁽¹¹⁾ (**B**ではD)、6小節目のBm^(b13) (**B**ではBm7)も同様です。

8小節目の後半は**B**と異なり、メロディが入ります。

.....

C2は、ほぼ**C**と同じです。4小節目のコード・ネームがG(onD)ではなくG7(onD)になっていますが、これは伴奏として3弦10フレット・F音を弾いている違いだけで、左手のフォームや動きは同じです(そのため、ダイアグラム譜では省略してあります)。

ここと次の**D2**、そして**C3**と**D3**のみ、2本目のギター(スタンダード・チューニング、カポ無し)によるコードが重ねられています(P.14参照)。

.....

D2は、ほぼ**D**(1～6小節目)と同じです。

.....

E 2小節目の4拍目は、次のコードにフォーム・チェンジするための“息つぎ”的な開放弦です(そのため、ダイアグラム譜には記していません)。

3小節目の4拍目で、2弦1フレット・C音を押さえている人差し指だけを残し、中指と薬指を一旦離します(そのため、4拍目オモテでは4弦が開放になっています)。そして次のウラ拍で、4～6弦2フレットを中指で部分セーハします。

.....

C3は、ほぼ**C**と同じです。4小節目のコード・ネーム(G7(onD))の違いは、**C2**同様ダイアグラム譜では省略してあります。

.....

D3は、基本的には**D**と同じですが、メロディが異なる部分が多くなっています(2小節目と、5小節目以降)。

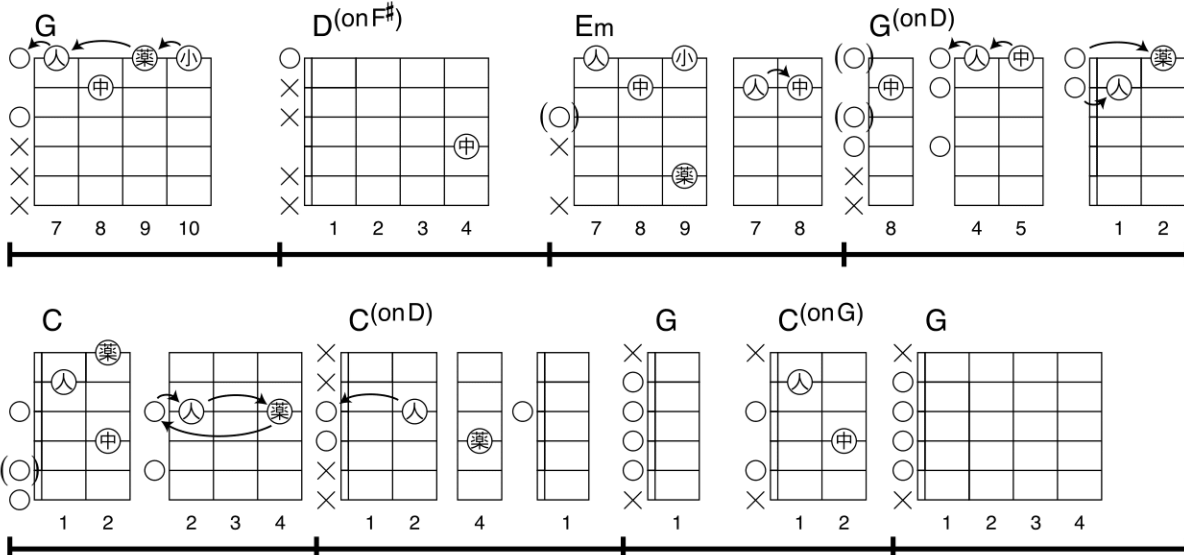
4小節目は、メロディのライン自体は**D**と同じですが、わざとハモラせずに弾いています。

.....

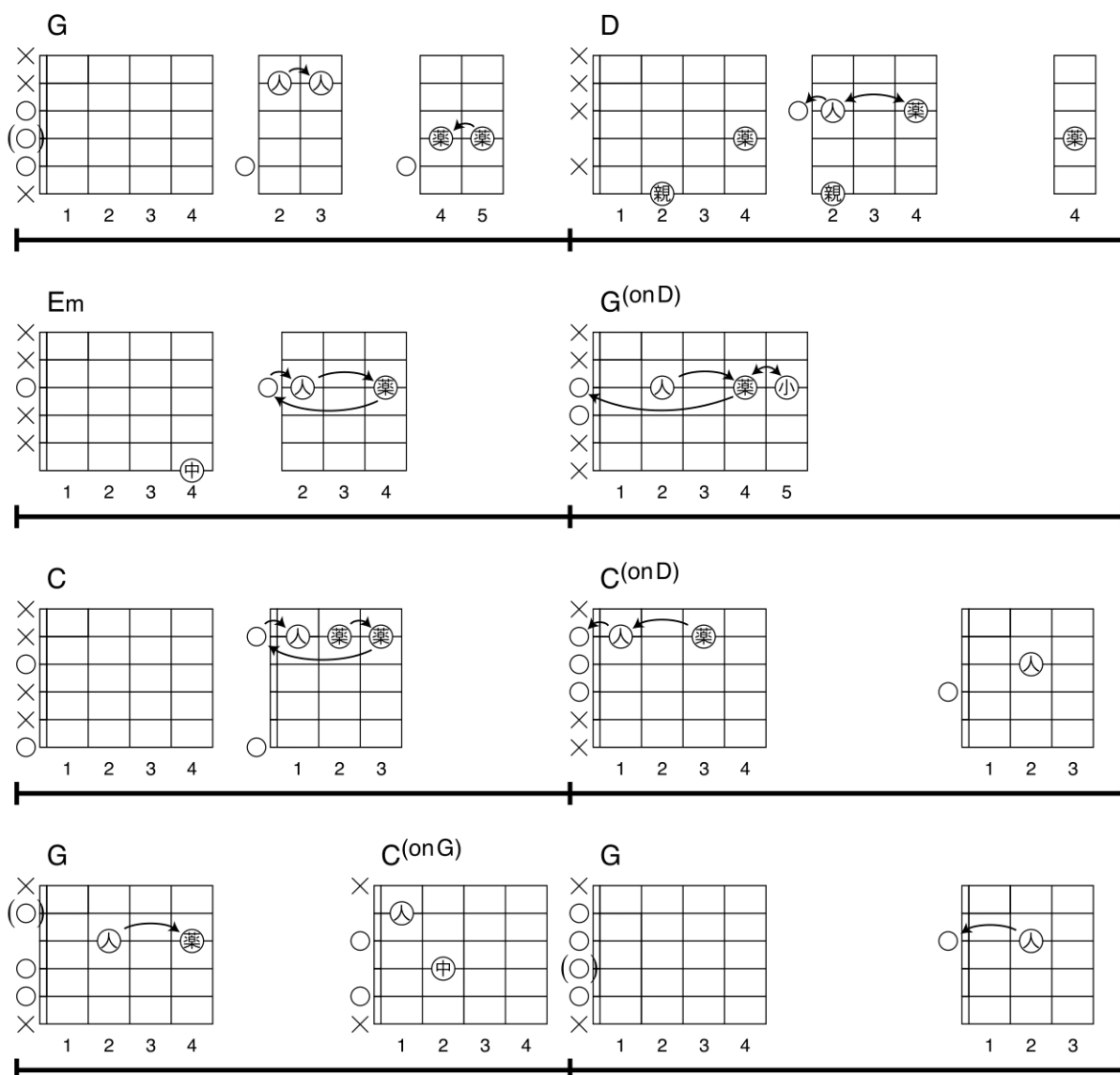
Endingは、基本的には**Intro**と同じですが、特に後半が多少異なります。

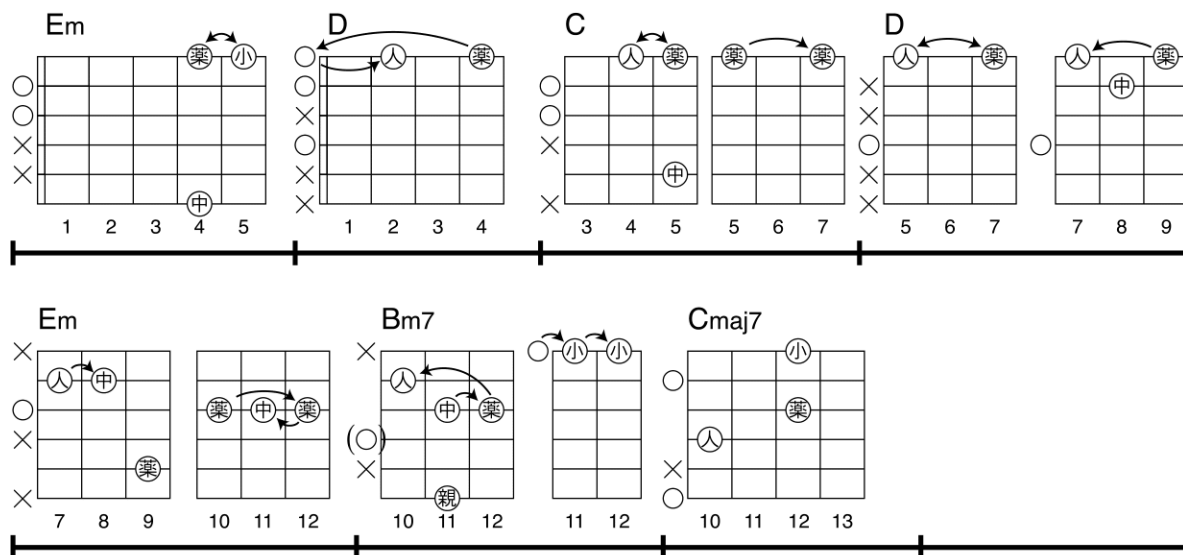
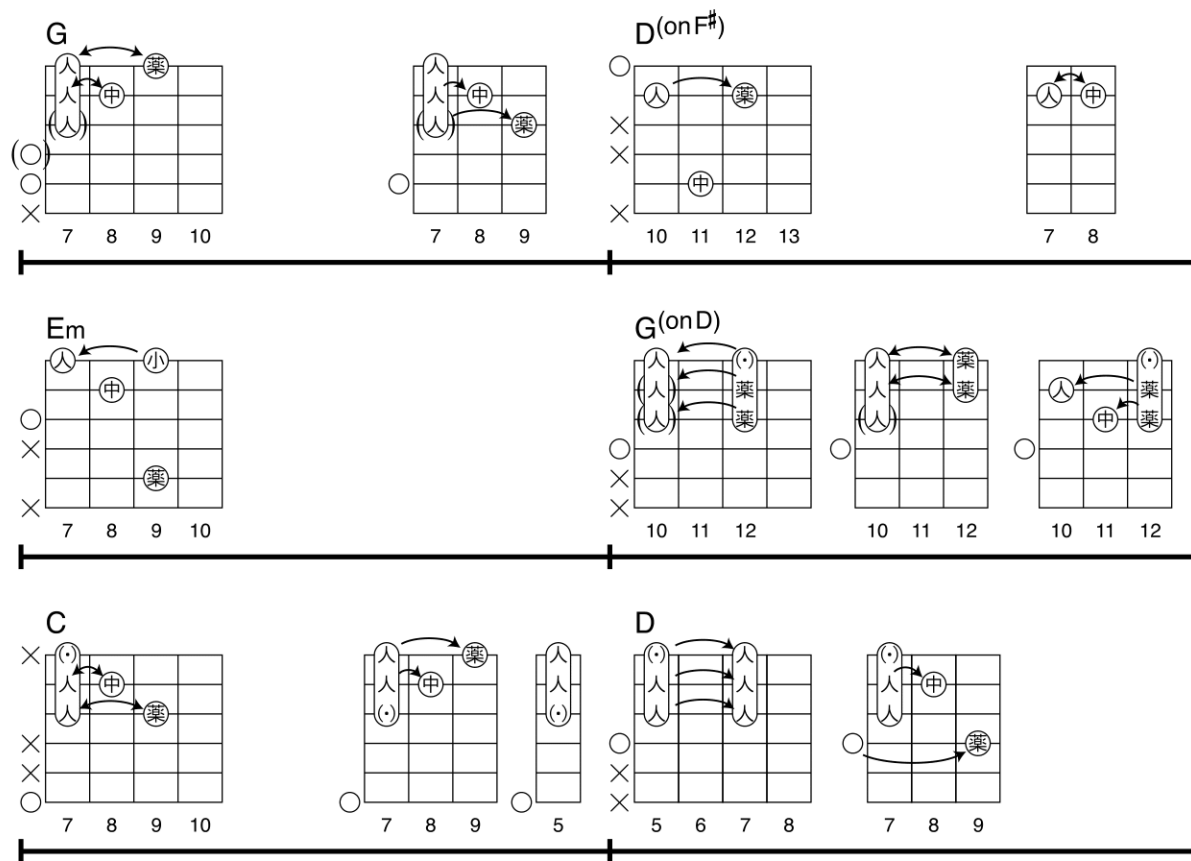
.....

Intro



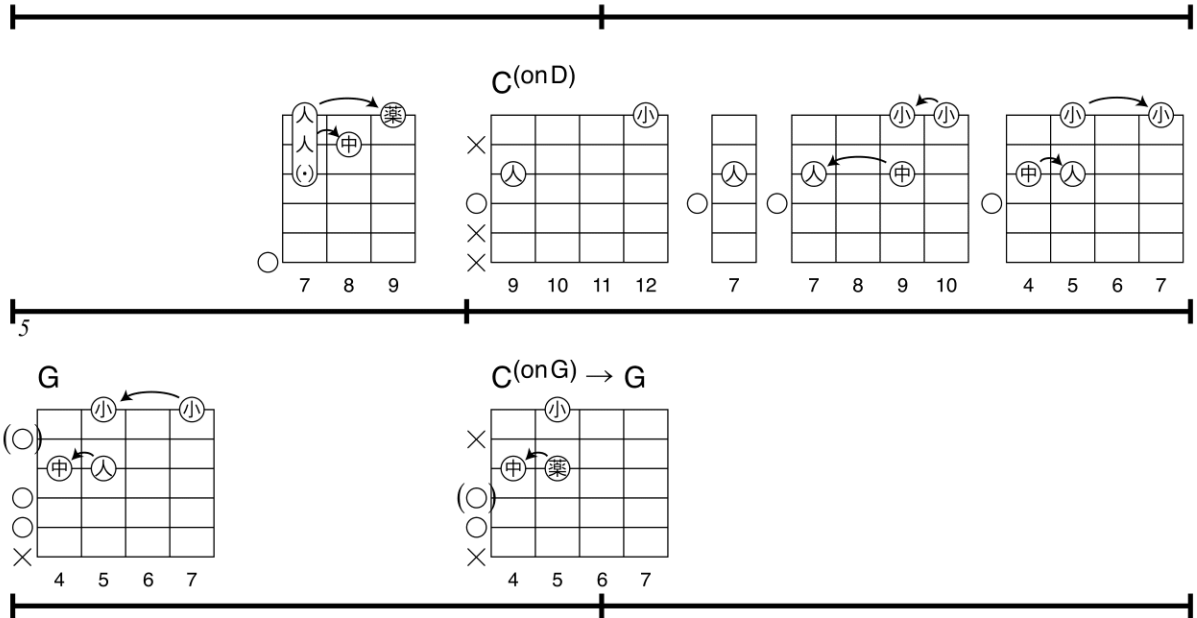
A



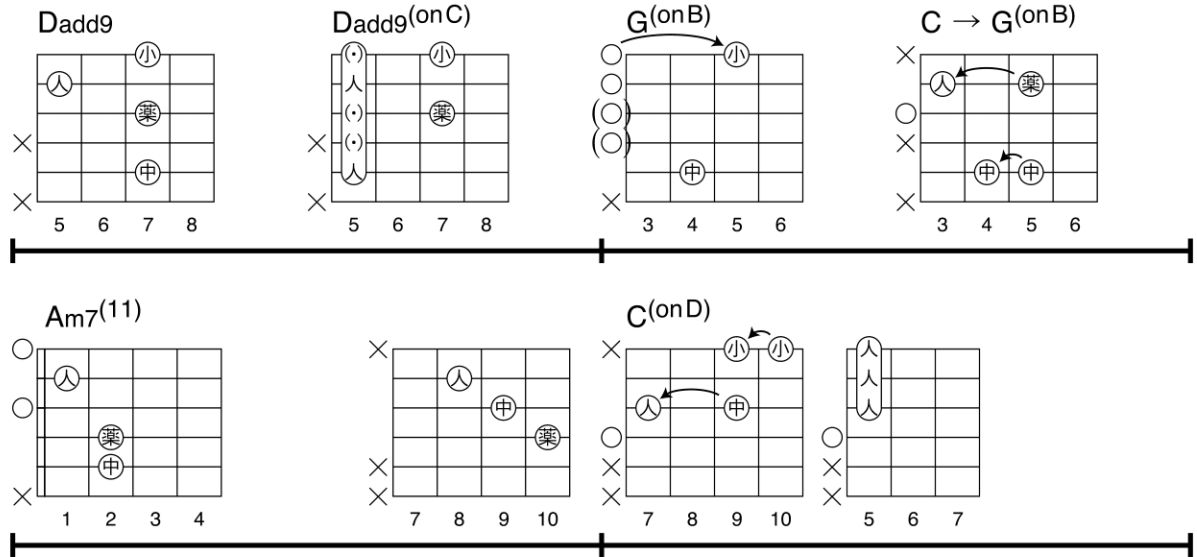
B**C****D**

1~5 bar : same as **C** 1~5 bar except notice

~ **D**

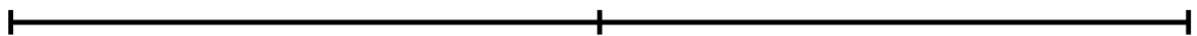


Inter

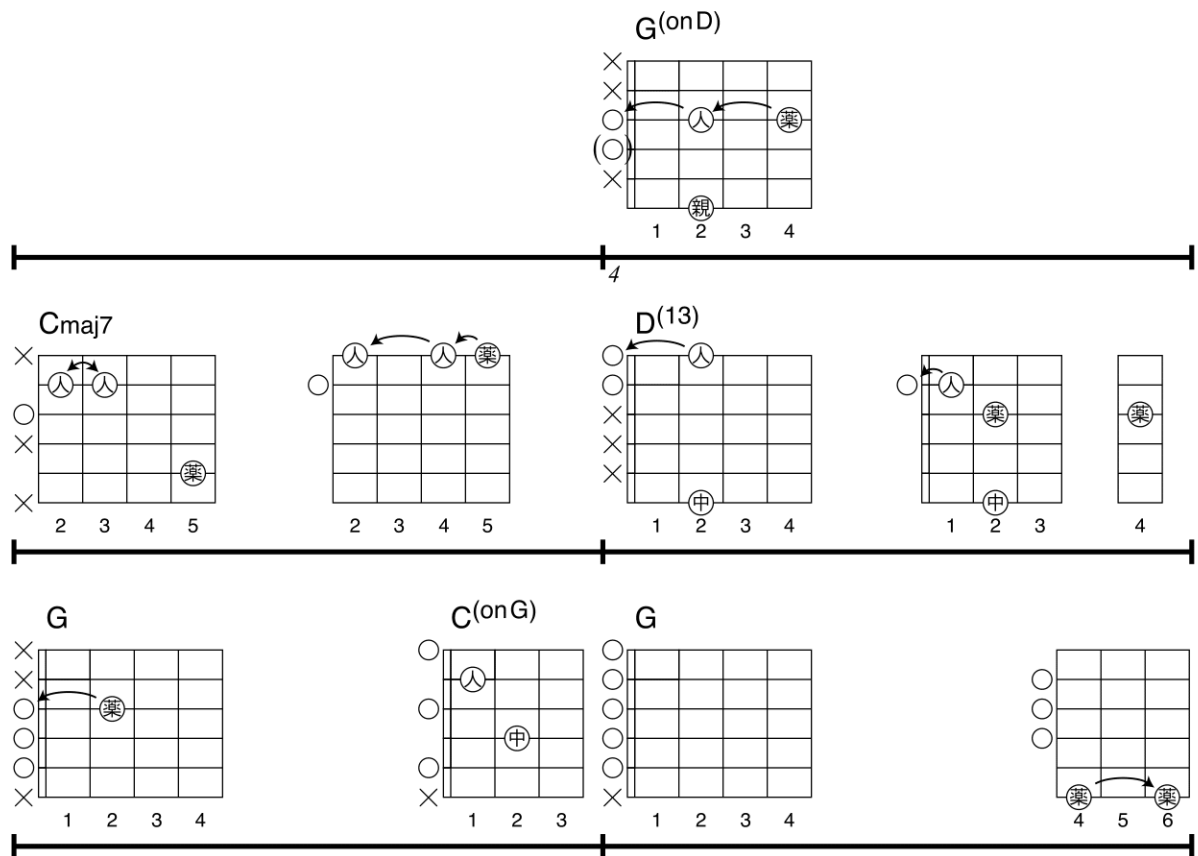


A2

same as **A** except notice



~ **A2**



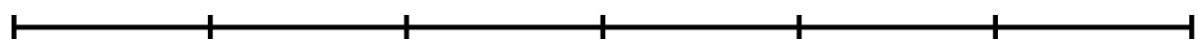
B2

same as **B** except notice



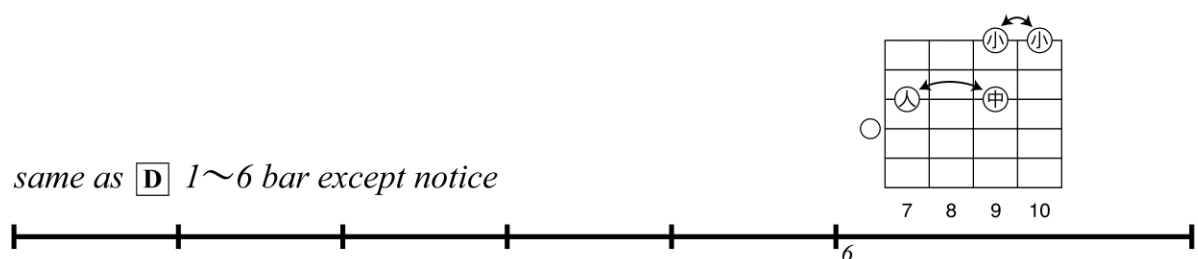
C2

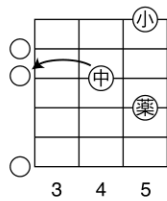
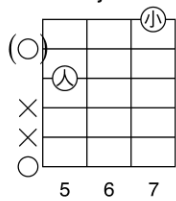
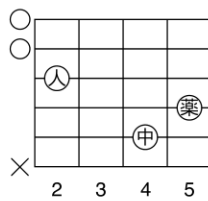
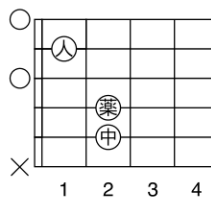
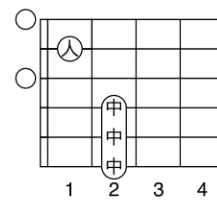
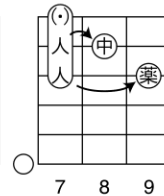
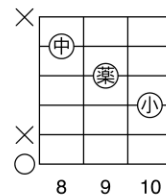
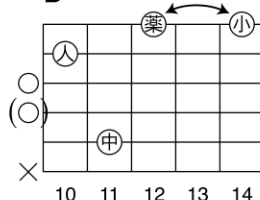
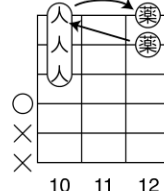
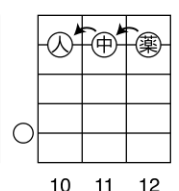
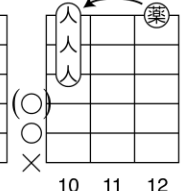
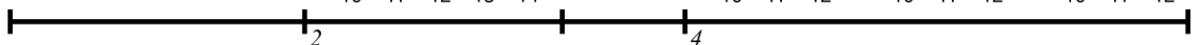
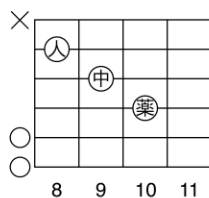
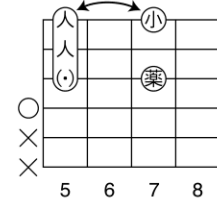
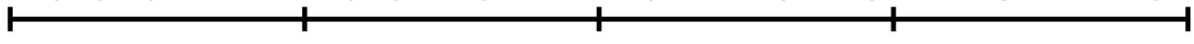
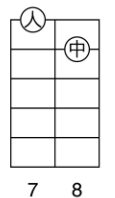
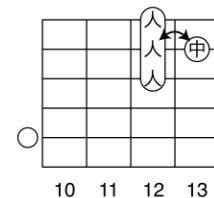
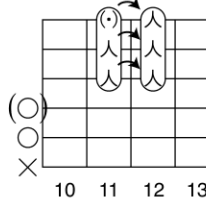
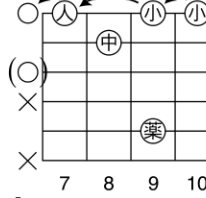
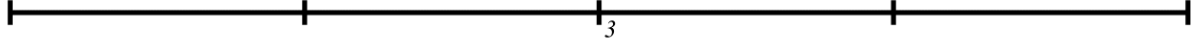
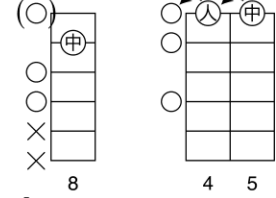
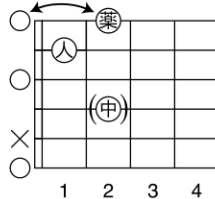
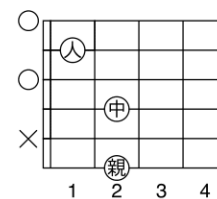
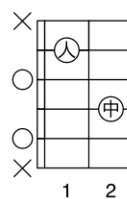
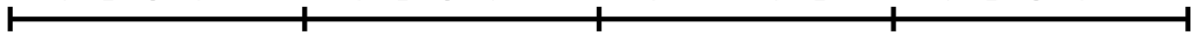
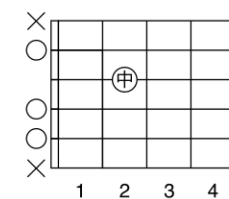
same as **C**



D2

same as **D** 1~6 bar except notice



E**Cmaj7****Gadd9(onB)****Am7(11)**→ **Am7(11)(onD)****C3****C***same as **C** except notice***D3****D(11)(onF#)****Dm7****G7(9)***1~3 bar : same as **D** 1~3 bar except notice***C****C(onD)****G****Ending***1~2 bar : same as **Intro** 1~2 bar***Em****G(onD)****C****D(onC)****G****C(onG)****Gadd9**

2本目のギターは、メイン・ギターとは違ってスタンダード・チューニング(カポ無し)です。大部分で2～4弦+ベース音をピッキングし(6小節目のみ2～3弦+ベース音で、3声になっています)、4拍目で音を切ってフォーム・チェンジしています。

.....
C2、D2、C3と、D3の1～6小節目は、ほぼ同じフ

レーズを弾いています。D3の4小節目のみ、メイン・ギターのキメに合わせてコードとリズムが変化しています。

.....
D2 6小節目の次(E 1小節目)はCadd9、D3 6小節目の次(D3 7小節目)はGadd9を、曲の進行に合わせて弾いています。

Tuning = Standard

Guitar 2
C2, D2, C3, D3

Gadd9 D(onF#) Em7 G(onD) Dm7 G7 Cadd9 C(onD) Cadd9 Gadd9